

# 市職員の給与・職員数のあらまし

市民のみなさまに、市職員の給与と数について、  
ご理解をいただけるよう、そのあらましをお知らせします。

## お問い合わせ

給与について……………人 事 課 / ☎861-7499  
職員数について……………行政経営課 / ☎861-5033

### 歳出総額に占める人件費の割合(平成23年度普通会計決算)

歳出総額(千円) A	人件費(千円) B	23年度の人件費率(B/A)	22年度の人件費率
120,564,673	18,608,002	15.4%	14.0%

人件費には、一般職員や、市長・副市長などの給料、議員報酬、各種手当、退職手当、共済費等を含んでいます。

### 平成24年度予算における一般職員給与費の状況(企業会計を除く)

職員数(人)	給与費(千円)				1人あたり給与費(給与費/職員数)
	給料	職員手当	期末勤勉手当	計	
2,174	8,224,823	1,330,921	2,927,936	12,483,680	5,742千円

給与は給料、扶養手当など諸手当(退職手当を除く)、期末手当からなっています。

### 職員の平均給料月額及び平均年齢の状況

区分	職種(対象者)	平均給料(俸給)月額	平均年齢	平均経年数
	一般行政職(1,247人)	314,666円	41.5歳	18.9年
国	全職種(257,478人)	317,013円	42.8歳	21.4年
	一般行政職(140,981人)	304,944円	42.8歳	21.2年

一般行政職とは、税務職、消防職、企業(上下水道)職や、給食調理員などの技能労務職、幼稚園教諭などの教育職等を除くすべての職員です。(平成24年4月1日現在)

### 初任給の状況

区分	学歴	那覇市		国	
		決定初任給	2年経過後	決定初任給	2年経過後
一般行政職	大学卒	172,200円	184,200円	172,200円	184,200円
	短大卒	152,800円	164,300円	152,800円	164,300円
	高校卒	140,100円	148,500円	140,100円	148,500円

(平成24年4月1日現在)

### 職員手当の状況

区分	那覇市	国	
扶養手当	●配偶者……………13,000円		
	●配偶者以外の扶養親族……………6,500円		
	(配偶者のいない場合、そのうち1人については 11,000円)		
住居手当	●16歳から22歳の子を扶養……………1人につき月額5,000円を加算		
	●月額12,000円を超える家賃の支払者 家賃額により最高 27,000円まで	●月額12,000円を超える家賃の支払者 家賃額により最高 27,000円まで	
	●持家の世帯主……………2,500円		
通勤手当	通勤距離が2km以上の者に支給		
	●交通機関(バス等)利用者…運賃相当額を支給(最高限度額55,000円)		
	●交通用具(自動車等)利用者……………距離により 2,000円~24,500円		
特殊勤務手当	区分	全職種	
	職員全体に占める手当支給職員の割合	15.3%	
	支給対象職員1人あたり平均支給年額(試算)	87,600円	
時間外勤務手当(普通会計)	手当の種類(手当数)	20種類	
	支給年度	23年度	22年度
	支給総額	307,586千円	299,369千円
	職員1人あたり支給年額	149千円	146千円

(平成24年4月1日現在)

### 期末手当及び退職手当の状況

区分	那覇市				国				
	支給期	期末手当	勤勉手当	計	支給期	期末手当	勤勉手当	計	
期末勤勉手当	6月期	1.225月分	0.675月分	1.90月分	6月期	1.225月分	0.675月分	1.90月分	
	12月期	1.375月分	0.675月分	2.05月分	12月期	1.375月分	0.675月分	2.05月分	
	計	2.60月分	1.35月分	3.95月分	計	2.60月分	1.35月分	3.95月分	
退職手当	職務級などにより加算措置があります。								
	勤続年数	自己都合	勲奨・定年	勤続年数	自己都合	勲奨・定年	勤続年数	自己都合	勲奨・定年
	勤続 20年	23.50月分	30.55月分	勤続 20年	23.50月分	30.55月分	勤続 20年	23.50月分	30.55月分
	勤続 25年	33.50月分	41.34月分	勤続 25年	33.50月分	41.34月分	勤続 25年	33.50月分	41.34月分
	勤続 35年	47.50月分	59.28月分	勤続 35年	47.50月分	59.28月分	勤続 35年	47.50月分	59.28月分
	最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分

(平成24年4月1日現在)

### 特別職の給料等の状況

市長・副市長の給料	議員報酬	市長・副市長及び議員の期末手当
市長 976,000円 (1,085,000円)	議長 696,000円 副議長 628,000円	6月期 / 1.40月分 / (議員1.55月分) 12月期 / 1.55月分 / (議員1.65月分) 合計 / 2.95月分 / (議員3.20月分)
副市長 801,000円 (890,000円)	議員 588,000円	一般職に準じ加算措置があります。

市長・副市長や市議会議員の給料・議員報酬は、「那覇市特別職報酬等審議会」において審議され、市議会の議決を経て決定されます。行財政改革の一環として市長・副市長の給料を10%減額支給しています。給料欄の()内は減額前の金額です。(平成24年4月1日現在)

### 一般行政職の級別職員数の状況(任期付職員を除く)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計
標準的な職務	主事	主事	主任主事	主査	主幹	課長	副部長	部長	
職員数(人)	160	173	294	284	156	132	31	17	1,247
構成比(%)	12.8	13.9	23.6	22.8	12.5	10.6	2.5	1.4	100.0
参考 平均年齢	25.8	30.8	41.6	44.5	49.6	53.4	55.6	56.0	

那覇市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。(平成24年4月1日現在)

### 臨時・非常勤職員の状況

臨時職員	419人	臨時一般事務職員(月額6,260円)、臨時保育士(月額6,670円)ほか
非常勤職員	1,144人	非常勤事務員(月額5,510円・1日6時間週5日勤務)ほか

(平成24年4月1日現在)

### 部門別職員数の状況と主な増減理由

部門	職員数		対前年	主な増減理由	
	23年	24年			
一般行政部門	1,317	1,332	増減数 15	○増員理由(合計62名) ①業務増:50名(中核市移行準備、新庁舎移転準備、窓口業務委託準備等) ②その他:12名(制度改正対応、欠員補充、所管換え等) ○減員理由(合計47名) ①事務の統廃合縮小:11名(公設市場移転業務終了、那覇市立病院等への派遣職員の引き上げなど) ②事務の民間委託等:5名(若狭児童館・市営住宅の指定管理者導入) ③その他:31名(退職者不補充、欠員不補充、所管換え等)	
特別行政部門	教育	455	450	△5	○増員理由(7名) ①業務増:1名(中核市移行準備) ②その他:6名(欠員補充、所管換え) ○減員理由(12名) ①事務の統廃合縮小:4名(牧志駅前公民館・図書館準備作業終了、那覇学校給食センター廃止) ②その他:8名(退職者不補充、所管換え)
	消防	273	271	△2	○減員理由(2名) 前年度重複配置の解消
公営企業等会計部門	病院	0	0	0	
	水道	134	131	△3	○増員理由(1名) 業務増(施設改修事業) ○減員理由(4名) 事務の統廃合縮小:3名(業務体制見直し) 欠員不補充:1名
	下水道	46	48	2	○増員理由(3名) 所管換え(雨水維持管理業務) ○減員理由(1名) 業務体制の見直し
その他	104	103	△1	○減員理由(1名) 業務体制の見直し	
合計	2,329	2,335	6		

(注)職員数は、総務省の地方公共団体定員管理調査対象の職員数です。(各年4月1日現在)

### 定員適正化計画の数値目標及び進捗状況

- 定員適正化目標(数・率)  
本市では行財政改革の取り組みとして、第2次那覇市定員適正化計画「2200プラン」(以下「定員適正化計画」という。)を策定し、平成26年度までに平成17年度の職員総数から759名(▲25.7%)を削減することを目標に掲げ、定員適正化に取り組んでいます。但し、平成25年4月の中核市移行に伴う事務量等については想定されていないため、計画策定以後の社会経済状況の変化等組織を取り巻く実情を踏まえながら目標数値の達成を目指しています。定員適正化計画の進捗状況は、平成24年4月現在職員数2,335人となっており、平成17年度と比べた削減数は624人、削減率が21.1%となっています。
- 定員適正化手法の概要  
定員適正化計画では、事務事業等の見直し、外部委託・民営化の促進、指定管理者制度の積極的な導入、多様な任用形態、地方独立行政法人の設立を取り組み手法として掲げています。今後も定員適正化計画に基づき、効率的・効果的な組織体制を築いていきたいと考えております。
- 定員適正化計画の実績

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
職員数(合計)	2,959	2,941	2,952	2,447	2,406	2,369	2,329	2,335
削減数(人)		18	△11	505	41	37	40	△6
削減率(%)		0.6%	0.2%	17.3%	18.7%	19.9%	21.3%	21.1%

※20年度の削減数505人には、市立病院の独立行政法人移行職員452人が含まれています。 ※22年度から中核市移行に向け、年次的に執行体制の強化を図っています。(各年4月1日現在)